

病院開設3年目となり、診療部としてもさらなるステップアップを目指したい年度であったが、研修医制度変更の影響などで、済生会熊本病院でも医師不足がおり、常勤医派遣が減少した（内科、消化器科、整形外科、泌尿器科）。消化器科の築村医師が加わって、熊本病院から各科持ち回りで医師派遣の協力もあり、何とか最低限の医師確保することができた。回復期リハビリテーション病棟も、立ち上げに努力していただいた宮川医師の退職後を、多々良医師が引き継ぐ形となった。

10月からは荒川医師が金曜日に加わり（熊本病院での麻酔研修中）、今後の新しい力として期待している。

紹介率は目標とした30%をクリアすることができた。（33.1%）

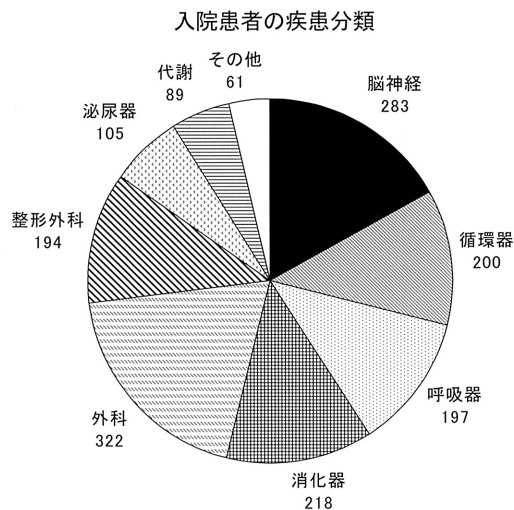
診療体制を整備することも課題であったが、少ない人数ではあるが、部長回診、外科回診、NST回診、嚥下回診などを定期的に行うことができた。

また、症例検討会も、循環器カンファレンス、外科手術症例検討会、ECGステップアップクラブなどを定期的に行った。院外での出前健康講座も「生活習慣病」「脳梗塞」「胃癌」「乳癌」などのテーマで行うことができた。検査の件数も昨年度より増加することができた。

少ない医師であるが、それぞれが踏ん張って持ちこたえた印象の1年であった。

新入院患者数は1,680名、平均年齢は71歳（中央値75歳）65歳以上の高齢者が75%をしめており、内90歳以上も120名7%であった。

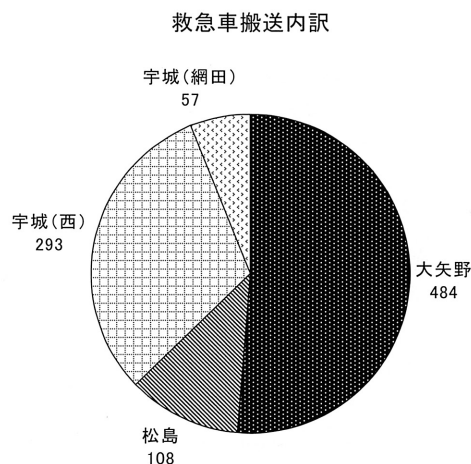
入院での死亡は102名で、そのうち悪性疾患が41名であった。



外来は、延患者数36,559名。1日平均124名であった。平均年齢は64歳。

救急外来では、年間で6,069名（2004年度は5,347名）の患者を診察した。

このうち救急車で来院は968名であった。（救急搬送元は、上天草市が61%、宇城市39%）



救急車の受け入れ状況 n=968

救急外来	n=6,069
救急車来院	968
帰宅	412
入院	412
転送	137
救外からの入院	1,002

救急外来からの入院が1,002名、他院への転送が225名であった。他院への搬送が救急外来患者の3.7%（2004年度 3.1%）と増加したが、これは整形外科常勤医師が不在になったことが大きく関与していると考えられる。